

新しい風ニュース NO188

やまがたの環境とくらしを考える会 (巻225)
岐阜県山県市西深瀬208 Tel・FAX 0581-22-4989

なんでも相談 どの政党とも無関係の 寺町ともまさ 2007年7月14日
HP ⇒ <http://gifu.kermin.net/teramachi/> メール ⇒ tera-t@ktroad.ne.jp
私のブログにアクセスするには「てらまち」で検索するのが一番はやいです

※ 緊急事態ですので、16日(月)朝刊でニュース188号をお届けするとともに、
来週7月23日(月)朝刊で次のニュース189号をお届けする予定です。

選挙ポスター代の水増し、市議22人中6人と県議1人を書類送検 7月12日

噂されていたとはいえ、こんな衝撃的なことはありません。議員の1/3が県警から検察庁に書類送検されました。全国で、議員の1/3が送検された議会はほとんど例が無い。選挙公営での候補者・議員らの摘発は全国初だとも報道されています。

国では政治家の事務所費や諸経費の虚偽報告の疑惑、あちこちの県議会では政務調査費の不正疑惑・・・「政治とカネ」、・・・選挙公営の水増しも同じこと。こんな原点のことがいつまでたっても問題になり続けていると、市民、国民、有権者の皆さんの政治ばなれ、政治家ばなれ、政治不信、行政不信がいつそう加速するのではないかと、心配になります。

● 山県市の選挙ポスター代・水増し詐欺事件の経過

- ・ 2004 (H16)年4月、 前年4月に自治体合併してから、初の議員選挙
定員22人に27人が立候補。うち25人が選挙費用の公費での負担を請求・利用
- ・ 今年4月上・中旬ころ、県警が印刷業者らの関連資料を収集、事情を聴く
- ・ 6月 8日 県警が水増し請求したとみられる議員らを詐欺容疑で事情聴取開始
- ・ 6月15日 市議4人、市議から転出した県議1人が事実を認めて県庁で謝罪会見
議会運営委員長、常任委員長2人の計3人の委員長の辞任届けが出る
- ・ 6月26日 選挙ポスター代の水増し問題に、市は調査のため弁護士の委員会を設置
- ・ 6月29日 議会定例会最終日、5人の辞職勧告決議案を否決
午後、1人が水増しを認めて、自宅で謝罪会見
- ・ 7月10日 議長の辞任願が出る
- ・ 7月12日 議長が水増しを認めて、市役所で謝罪会見。 県警は現職市議6人、市議
から転進の県議1人、会計責任者1人、印刷業者4人の12人を書類送検
- ・ 7月19日 10時開会 臨時議会の予定
- ・ 来年4月 定員22人を16人に減じて(昨年9月に条例改正済み) の定例市議選

● 市長は = 議員が辞職するかは本人の判断 = まるで他人事

6月議会の一般質問で市長にいろいろと問いました。その内容は改めてお知らせしますが、水増し該当議員の身の処し方については、市長は「本人の判断」と傍観者的な答弁。

前の市議選で「市長の推薦」とリーフレットにハガキ、選挙公報などに書いて宣伝した人たちは少なくありません。だから、市長から強く言うべきと再度質問しても、市長は、本人にまかせるとの答弁。

市長は、支援する候補者が選挙のとき市民の皆さんに、「私はこの人を推薦する＝山県市長平野元」という趣旨の文書をリーフレットやハガキ、ポスター、公報などに記載して自由に配布することを承認していました。この期に及んで、推薦責任の放棄はあまりにも市民・有権者を愚弄するものではないでしょうか。

私は、選挙前、選挙のとき、それを見ていた市民の皆さんのご意見をお聞きしたい。

● 市は = 選挙ポスター代の水増し、調査のため弁護士の委員会を設置

市は、公費負担されるポスター代を、市議らが水増し請求したとされる詐欺容疑事件を受けて、当時の事実関係や不正に水増し請求された金額などについて独自に調査するため、弁護士3人でつくる調査委員会を設置しました。

調査委員会の設置は、不正請求について客観的かつ公正、公平な外部の第三者の立場から調査、提言をするのが目的。まるで、昨年の岐阜県庁裏金事件の対応を真似たかのよう。

印刷業者にポスター代を請求させた当時の立候補者全員と、各印刷業者を調査対象とし、不正の有無や、不正があった場合の水増し額を、書類や面接で調査。7月4日と7日には、公費を請求した全候補者から聴取。7月末をめどに市に結果を報告する予定です。

山県市議ら書類送検
ポスター代水増し 14人、詐欺容疑

岐阜県山県市議選のポスター代水増し請求問題で、岐阜県警は12日、市議から転身した県議1人、現職市議7人と、ポスター作製を請け負った業者ら計14人を詐欺容疑で書類送検した。同県警によると、選挙公営制度による公費負担をめぐる立件は全国初。

書類送検されたのは、元市議で今年4月の県議選で初当選した横山善道(58)＝当選後に自民入り＝、村橋安治市議会議員(58)ら現職市議7人、市議の後援会関係者1人、印刷業者5人。市議と業者各1人については「立件を見送る」とする意見を付けた。

調べでは、議員らは業者らと共に、04年4月18日に投開票された市議選で選挙公営制度を悪用し、ポスター代を水増し請求し、それぞれが約37万、19万円を同市から詐取した疑い。このうち市議1人が十数万円、別の市議1人が数万円を、業者から還流させていた。

2007.7.13 朝日

● 市民は = 辞職や解散を求める声が強い

山県市の問題、「心当たりのある議員は辞職しろ」「お金を返したら済み、ではない」「謝って済む話ではない」という意見はもちろん、「議員の手当ては返せ、もう払うな」とか、「議会は解散して出直すべき」、という意見も強く寄せられています。

● 議会は = 辞職勧告決議案を否決 臨時議会は7月19日(木)

6月定例議会で、水増し詐欺を認めた議員の辞職勧告決議案の議員提案をしましたが、大多数の議員の反対で否決されました(私と中田議員以外は反対)。起訴もされていないのとか、まだ有罪になったわけではないとか、時期尚早とか、そんな反対意見でした。

なお、議長の辞職願の審議のため臨時議会を急ぎよ、19日開催に。

(否決された議員提案の議案)

選挙公営ポスター代水増し関与議員に対する辞職勧告決議 決議の理由

私たち議員は、高い倫理観と見識、決意のもと、法令遵守を旨として議員活動に努めなければならない。

去る6月9日以降の新聞やテレビの報道のとおり、2004年4月執行の山県市議会議員選挙にかかる選挙公営ポスター代の水増し詐欺容疑で岐阜県警捜査二課と山県署が印刷業者及び候補者を聴取した。・・・(中略)・・・容疑にかかる行為そのこと自体が許されないことは当然である。

当事者が容疑を否認するならともかく、当事者が捜査事案を認めた、即ちそれぞれの議員による当該水増し詐欺が事実であったということは、山県市議会の品位を著しく汚すものであり、かつ市民の信頼を大きく裏切るものである。同時に、県議会にもかかわることから県民の声も厳しい。

一部の者は書類送検されたら辞すと述べたとの報道もある中、当事者の対応の無責任さは、山県市議会の対応が叱責されることに代表されるように一層に議会を侮辱するものである。市民の不信と怒りはなお高まり、山県市の信用までをも失墜している。県議会批判も増えている。

当事者議員の社会的、同義的責任は極めて重い。このままでは、市議会運営、市政運営に支障が生ずることは予想に難くない。多くのものが耐え難い思いをし、憤る事態になったことに鑑み、山県市議会は、今般の事態への速やかな対応として、選挙公営ポスター代水増し関与議員は、速やかに、自ら県議会議員、あるいは市議会議員としての職を辞すことを勧告する。
以上、決議する。

こんな議員の認識では、「議会解散」の案を出しても通るはずはありません。

一つの答えは「市民のみなさんのちから」、「有権者のちから」です。

もちろん、私も何か良い案はないかと考えています。

市民の皆さん、何か良い提案はありますか？

2007.7.13 毎日

詐欺の疑いで
14人書類送検
04年4月の岐阜県山県市議選をめぐる選挙ポスター製作費の水増し請求問題で、県警捜査2課と山県署は12日、市議ら8人と議員の会計責任者1人、印刷を請け負った業者5人の計14人を詐欺容疑で岐阜地検に書類送検した。うち市議1人と業者1人は、水増し請求はなかったとしている。
調べでは、市議らは同市議選で印刷業者らと共に、選挙公営制度では公費負担が認められない選挙用はがき製作費などをポスター製作費に上乗せした虚偽の請求書を、市に提出。市からそれぞれ数万〜十数万円をだまし取った疑い。印刷業者に対し、約10万円上乗せした金額で市に請求するよう指示し、業者から金の一部を受け取った議員もいるという。
【鈴木敬子、稲垣衆史】

代
請求
増し
水

山県市議ら12人書類送検

目撃 公費詐欺の疑い

山県市議選で市議らが、署は十二日、同容疑で現「選挙公営」で公費負担職の市議ら七人と選対関係者、印刷業者の計十二人を岐阜地検に書類送検し請求した詐欺容疑事件で、県警捜査二課と山県市議選の村橋安治(五八)、宮を認めている。

代
請求
増し
水

半額が水増し請求

議長辞職原の市議辞職にも含み

山県市議選のポスター製作費水増し請求問題で、市議会議員の辞職願を出した村橋安治市議(五八)が12日、記者会見を開き、公費負担として市選管に請求したポスター製作費29万7675円の半額が水増し請求だったと明らかにした。市が設けた調査委員会の結論や、岐阜地検が下す司法判断次第では、市議の辞職も含めて進退を決める考えを示した。

2007.7.13 中日

山県市ポスター費

県議との市議書類送検

詐欺容疑で 水増し最高28万円

二〇〇四年の岐阜県山県市議選の選挙ポスター製作費水増し請求事件で、県警捜査二課と山県署は十二日、いずれも詐欺の疑いで、元市議の横山善道(五七)と市議六人、後援会の会計責任者一人、ポスター製作を請け負った印刷業者五人の計十三人を書類送検し

書類送検された市議は、村橋安治市議長(五八)と渡辺政勝市議(五七)、武藤孝成市議(五七)、村瀬隆彦市議(五七)、宮田軍作市議(五七)、吉田茂広市議(五七)。横山県議は事件の舞台となった〇四年四月の山県市議選で当選後、今年四月の統一地方選で

書類送検された市議は、村橋安治市議長(五八)と渡辺政勝市議(五七)、武藤孝成市議(五七)、村瀬隆彦市議(五七)、宮田軍作市議(五七)、吉田茂広市議(五七)。横山県議は事件の舞台となった〇四年四月の山県市議選で当選後、今年四月の統一地方選で

書類送検された市議は、村橋安治市議長(五八)と渡辺政勝市議(五七)、武藤孝成市議(五七)、村瀬隆彦市議(五七)、宮田軍作市議(五七)、吉田茂広市議(五七)。横山県議は事件の舞台となった〇四年四月の山県市議選で当選後、今年四月の統一地方選で

書類送検された市議は、村橋安治市議長(五八)と渡辺政勝市議(五七)、武藤孝成市議(五七)、村瀬隆彦市議(五七)、宮田軍作市議(五七)、吉田茂広市議(五七)。横山県議は事件の舞台となった〇四年四月の山県市議選で当選後、今年四月の統一地方選で

2007.7.13 読売

た。七人のうち六人は既に謝罪会見して水増し請求を認めていたが、この日は残っていた村橋議長が初めて謝罪会見し、請求した半額以上がはがき代だったと認めた。県警は、このほか別の市議一人の書類も検察に送ったが、市民から告発を受けて捜査したものの詐欺容疑は認められないとの内容という。

た。七人のうち六人は既に謝罪会見して水増し請求を認めていたが、この日は残っていた村橋議長が初めて謝罪会見し、請求した半額以上がはがき代だったと認めた。県警は、このほか別の市議一人の書類も検察に送ったが、市民から告発を受けて捜査したものの詐欺容疑は認められないとの内容という。